

会長就任のご挨拶

一般社団法人 日本チタン協会
会長 中村 真一*



An Inaugural Address from Mr. Shinichi NAKAMURA, New Chairman of The Japan Titanium Society

この度一般社団法人日本チタン協会（以下、チタン協会）の会長に就任いたしました。チタンは工業化されてからの歴史は浅いものの、高比強度・高耐蝕等の優れた特性を有し、将来的に非常に有望な金属であると考えており、会員の皆様のご協力を頂きながら、日本のチタン産業の一層の発展に貢献して参りたいと考えております。

しかしながら足元のチタン業界は非常に厳しい状況にあります。新型コロナウイルスの世界的な蔓延による航空機向け及び一般産業向けの需要低迷により、2020年の日本のスポンジ出荷は34千トンと前年から40%以上の減少、展伸材の出荷も13千トンに留まり前年から20%以上の減少となっております。航空機向け需要を中心に本格的な回復には時間を要する見通しであり、需要面では当面は厳しい状況が継続するものと思われまます。また、国際的にも高い電力コストが課題であるなかで、供給面においても中国メーカーの台頭等により国際競争が激しさを増しており、日本チタン産業は極めて厳しい状況にあると認識せざるをえません。

このようななかで当協会といたしましては、安全交流会等の啓発活動を通じた産業事故防止や研究助成・技術者の育成等の産業基盤強化、産学及び会員各社と連携した新たな用途や需要の創出を進めるとともに、国際競争力のある電力コストや不公平感のある関税格差是正実現に向けて、政府や関係省庁にも継続して働きかけていきたいと考えます。また、社会的要請が強まっている脱炭素・循環型社会の実現に向けて、チタンの製造プロセスにおける二酸化炭素排出量削減、カーボンニュートラルや脱炭素・循環型社会の実現に資するチタンの用途開拓を関係各所・各社と連携して進めていきたいと考えております。ポテンシャルの高いチタンの適用用途は徐々に拡大しつつありますが、社会的なニーズに応えることでチタン業界もさらに発展できるものと考えております。

経済産業省をはじめとする関係省庁、大学研究機関の皆様のご支援ご協力を頂き、微力ながら今後ともチタン産業の発展に尽力して参りますので、よろしくごお願い申し上げます。

* (一社)日本チタン協会会長/日本製鉄㈱ 代表取締役副社長
Chairman of The Japan Titanium Society
Executive Vice President of Nippon Steel, Ltd.